

「福住校区多世代活躍事業」

第25回 福住氷まつり



<建国記念の日に復元氷室内に貯蔵した3トンの氷を取り出す行事です>

「福住村」にて『七月市』も同時開催！！

開催日：令和5年7月17日（海の日）

■「福住氷まつり」（会場：復元氷室）：9時～（受付8時40分～）

- ◆取り出した氷は福住村会場まで運びます
- ◆恒例の氷残量当てクイズも開催（投票受付8時40分～9時10分）
- ◆「25回開催記念缶バッジ」を受付にて販売いたします



■「模擬店や展示」（会場：福住村）：模擬店11時～15時まで

- ◆福住村イベント『七月市』にコラボにて多数出店



※お車で「氷まつり」にお越しの方は、福住小中学校運動場をご利用ください。

※当日8時30分～12時までナパラ前から小中学校交差点までが「通行止め」となります。

近隣住民の皆様にはご不便をお掛けしますがご協力をお願いいたします。

この夏「福住氷まつり」+『七月市』＝“地域最強イベント”で大盛り上がり

ふ
れ
あ
い

発行
天理市立
福住・山田
公民館

大和高原福住村プロジェクト

【オーガニックビレッジ宣言に向けて】

「七月市」では、今回地域の皆さまにご協力いただき採した茶の樹から作られた【福住産三年晩茶】のお披露目をさせていただきます。パッケージは、福住小中学校の生徒と一緒に考えました。七月市の後は、もちろん無印良品でも販売されます。放棄茶畑を復活する動き、すなわち【福住茶】を復活させるプロジェクトは、天理市が今年度行うオーガニックビレッジ宣言につながっていきます。

オーガニックビレッジ宣言により、福住から出るお米や野菜は安心安全なものであることを強調し、その価値を高めることが期待されます。これにより、価格も上昇することが見込まれます。さらに、移住希望者や新規就農者の増加にもつながり、地域の人口減少問題にも一石を投じることができるとでしょう。

オーガニック農業は、持続可能な農業の形態として注目されています。天理市が福住校区をオーガニックビレッジのモデル地区として位置付けることで、天理市の農業を新たなステージに引き上げることが期待されます。オーガニックな農産物は高い品質と安全性を備えており、それに見合った価格が付けられることで、農家さんの収益向上につながるでしょう。

さらに、オーガニックビレッジ宣言は地域への活気と魅力をもたらすと考えています。福住校区がオーガニックの拠点として認知されることで、移住希望者や新規就農者が増えることが期待されます。農業の担い手不足や人口減少といった問題に積極的な解決策を示すことで、地域の持続的な発展に繋げていきたいと思います。

オーガニックビレッジ宣言は、農業と地域の未来に向けた大きな一歩です。未来のために、オーガニックビレッジの拠点をみんなで作っていきましょう。今後とも皆さまのご理解とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

◆令和5年度 福住校区生涯学習推進委員会◆

垣内名	氏名	垣内名	氏名
別所	中嶋 正文	上山田	松岡 隆行
浄土	今西 寿治	中山田	大東 修司
下入田	川村 哲	下山田	金谷 克彦 (副推進員長)
上入田	松本 秀行 (推進員長)	<生涯学習推進員の主な役割> 地域住民の自主的な生涯学習を推進し支援する事と、各種団体と連携し交流を深めながら、校区の生涯学習及び福住・山田公民館活動の活性化にご尽力いただきますので、ご協力をお願いします。	
南田	辻村 義幸		
中定	乾 主典		
井之市	福井 澄明		
小野味	山下 昌仁		
鈴原	温井 英一		
長滝	大西 康夫		

公民館運営委員会を開催しました

5月7日(日)に福住公民館、そして、6月10日(土)には山田公民館で「令和5年度公民館運営委員会」を開催しました。昨年度の「公民館活動の報告」そして、「今年度の活動について」を委員の皆さんと協議を行いました。今年度につきましては、さらなる「地域の拠点となる場」を目指して、各事業を進めていきます。また、各種団体や学校とも連携し、福住校区の「支え合うまちづくり」と公民館の「まなぶ・つどい・むすぶ」とが協働し、新しい取り組みにも積極的に関わってまいります。



郷土再発見 福住地方の石仏11

『カツレの地蔵』 南田

上入田から吐山までの広域農道の南田と、鈴原の中間の峠付近をカツレという。

たぶんこの峠道を拓げるとき山をカツた(割つる・削る)からであらう。

この少し上に小さな祠があり、中に地蔵石仏が祀られている。風化しているが中世のものだろう。

かつて南田では、八月二十四日の地蔵盆に村中のものが集まってここで籠りをしておられた。

現在、実施日は二十四日の前の日曜日にかわり、集まるのも南田公民館に変わっている。

カツレの地蔵へは代表の方がお参りされている。

この道は、奈良時代の霊亀元年(715)開通した「都祁山之道」に推定され、少し南田よりいくと、奈良時代聖武天皇が東国に行幸するとき、この道を通り、池の水を笏で指したという笏指池(しゃくしいけ)跡がある。

カツレの地蔵は、旅人の安全と村へ邪悪なものが入らないようお祀りされたのであろう。

「福住いにしえ会」



〈カツレの地蔵〉

ふれあい俳句

兼題「更衣」



山里の 風に身を置く

更衣 岡本俊子

会釈す 母似の女の

更衣 上田真作

更衣 脱ぎし衣類の

重さかな 中尾光子

ハンガーの 荷が重過ぎる

季の移り 中西健一

更衣 一度も着ずに

お箱入り 榊 浄子

「つながる公民館」福住公民館地域づくり推進講座

にっぽん Zoom トラベル紀行～北海道から沖縄まで“全国を旅行中～”

5月22日(月)、沖縄県北谷(ちやたん)町にある桑江区公民館と開催しました。1,200キロ離れた沖縄県からは、屋根獅子(シーサー)が置いてある「うちなあ家」から、三線で「祝い節」の演奏を聴きました。続いて、観光スポットの「北谷アメリカンビレッジ」や、青い海でのクルージングの風景と、澄んだ海の中の映像などを観て楽しみました。海辺から、町の紹介や文化遺産など北谷町の地元ならではの説明では、観光マップを手にしながら皆さんとても興味深く聞いておられました。また今回は、「奈良・天理の観光」を天理市産業振興館長にガイドにいただきました。遠く離れた、奈良や天理の文化・観光・歴史の説明に、沖縄の参加者の方々もとても関心を持たれ、スクリーンの映像に驚かされていたようです。



続いて6月12日(月)には、愛媛県新居浜市の新居浜中萩公民館と開催しました。新居浜の名所や四国三大祭の新居浜太鼓祭り、中萩の歴史や観光、そして新幹線の父である偉人の十河信二さんのお話など、中萩古文書を読む会代表からいただきました。また、福住公民館からはガイド役として中村友蔵さん(氷室神社宮司)から、奈良や天理の観光や歴史を含めた「奈良の都と都鶏の国～氷の物語～」のお話を322キロ離れた参加者の方々にしていただきました。



昨年11月から、島根県・富山県・福岡県・愛知県・沖縄県・愛媛県、7月には、千葉県流山市と宮城県仙台市、そして9月には北海道苫前町と開催予定。北海道を終えると、北から南までの各地方を廻り、通過点となるエリア達成となります。

山田公民館が美しくなりました!!

6月10日(土)、高齢者学級生の皆さんが、公民館周辺の環境整備作業を行ってくださいました。梅雨空の中、グラウンドでは手作業での草引きを、そして周辺フェンス際と駐車場では草刈りをしていただきました。木造校舎の公民館を見学に来館された方からも「すごく綺麗な場所ですね」とお声かけも頂いております。いつも本当にありがとうございます。



地域の伝統「山田町の虫送り」

6月16日(金)、虫の供養と豊作を願う、山田町の伝統行事であり、市無形民俗文化財にも指定されている「虫送り」が、上山田・中山田・下山田の各地区で行われました。辺りが暗くなるにつれて、火のついた松明を持って歩く行列が、緑豊かな山間の田園風景を幻想的な世界へとかえていきました。



異動のご挨拶

福住・山田公民館

佐々木 孝誌

このたび、4月から柳本公民館に異動となりました。

地域の皆様には着任からの3年間、優しく暖かいお言葉もいただきながら勤務出来たと、心より感謝申し上げます。

校区の皆様のご健勝と、ご多幸をお祈り申し上げます。ありがとうございました。

着任のご挨拶

福住・山田公民館

前田 昌胤

この4月より、福住・山田公民館に着任となりました前田です。しっかりと活躍出来るよう頑張ります。よろしくお願いたします。

行事予定

7月

1日(月) 小中学校区教育推進協議会

福住校区人権教育推進協議会 総会

3日(月) 「地域づくり推進講座」

にっぽんズームトラベル紀行(福住)

17日(祝) 第25回福住氷まつり

〃 『七月市』(福住村)

21日(金) 「地域づくり推進講座」

にっぽんズームトラベル紀行(福住)

25日(火) タウンミーティング

8月

19日(土) 平城京天平祭イベント

献上氷の再現(氷まつり実行委員会)